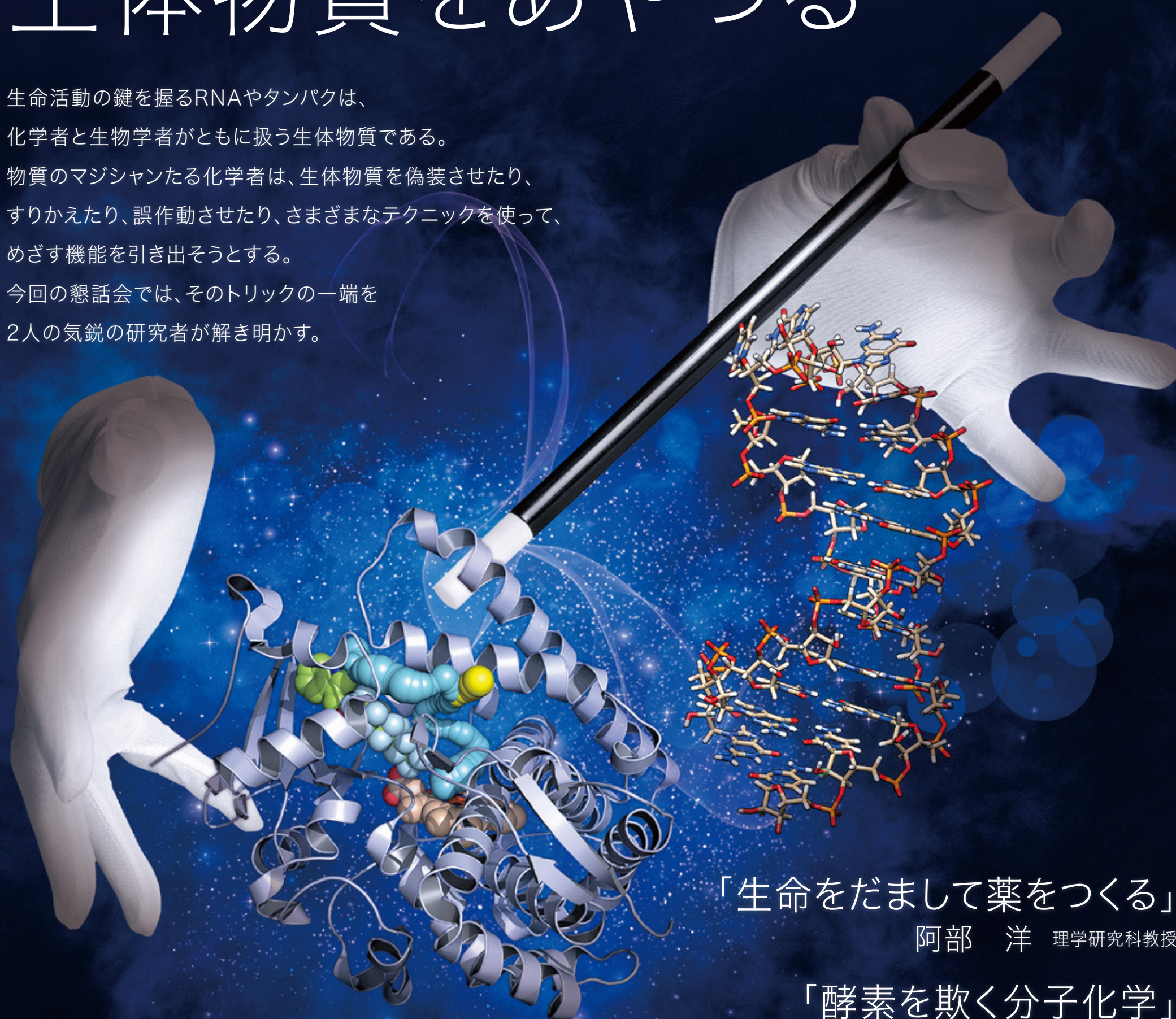


第29回 名古屋大学理学懇話会

化学のマジックが 生体物質をあやつる

生命活動の鍵を握るRNAやタンパクは、
化学者と生物学者がともに扱う生体物質である。
物質のマジシャンたる化学者は、生体物質を偽装させたり、
すりかえたり、誤作動させたり、さまざまなテクニックを使って、
めざす機能を引き出そうとする。
今回の懇話会では、そのトリックの一端を
2人の気鋭の研究者が解き明かす。



「生命をだまして薬をつくる」

阿部 洋 理学研究科教授

「酵素を欺く分子化学」

荘司長三 理学研究科教授

2019年 6/16 日

名古屋大学 理学南館 坂田・平田ホール
(地下鉄名城線名古屋大学駅下車2番出口)

○開場 13:00 / 開演 13:30 - / 終了 16:00

○定員 300名 **入場無料**

高校生のための
サイエンスカフェ in 名大

同日開催 16:15 - 17:30

懇話会終了後、高校生を対象に研究者を囲んで、当日の講演や科学についてあれこれおしゃべりするサイエンスカフェを開きます。会費は無料。参加を希望される方は下記まで電話またはメールにてお申し込みください。当日参加も受け付けます。